



## 過去の反省に学ぶ

校長 石川 鋭一郎

先日、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向け、文部科学大臣からのメッセージを生徒に伝え、指導いたしました。これに関連して、忘れてはいけない過去の過ちについて述べます。

東京都東村山市に全生園という療養施設があり、その中にハンセン病資料館があります。ハンセン病とは、現在は治療薬も開発され発症者もまれになりましたが、かつては不治の病とされていました。症状が進むと体の皮膚が変形し、その様相から多くの差別や偏見が生み出されました。

明治40年、国の法律「癩(らい)予防法」により、患者は療養所に隔離されるようになりました。治療を目的としたものではなく、あくまでも隔離と断種でした。患者は外出を禁止され、子どもを持つことも許されませんでした。

その家族も、住んでいる地域で差別と偏見を受け、家族にハンセン病患者がいることを隠して生活せざるを得ませんでした。また、患者が発生したその地域全体も偏見を持たれました。

第2次世界大戦後、治療薬が開発されましたが、しばらくこの法律は継承されました。平成8年、ようやくこの法律が廃止され、平成13年に国の対策の誤りを認める判決が下されました。

この資料館を見学すると、病気そのものの怖さよりも、病気に対する過剰なまでの拒絶反応、患者の発生した家族やその地域に対する差別と偏見の恐ろしさを痛感します。

現在はどうでしょうか。新型コロナウイルスに対する過剰な拒絶反応はないか、その結果、自分や家族が感染していることを隠さざるを得ない状況か、感染の発生した家族や地域への差別や偏見はないか、どうでしょうか。感染症は確かに怖いです。でも、それによる差別や偏見は、人や社会を分断し、人の心や経済を疲弊させてしまうので、感染症そのものよりはるかに恐ろしいと思います。

ハンセン病に対する過去の過ちを繰り返してはならないと思います。科学的根拠に基づき、正しく怖がるのが大切だと思います。先日、この感染症で逝去されたタレントの志村けんさんですが、この全生園のある東村山市のご出身です。これも、重要なメッセージであると思います。

## 第44回 文化祭のお知らせ

令和2年11月7日(土) 午前8時40分開演 12時終演予定 於 都立新島高等学校体育館  
スローガン「NJH48 ~48人48色の可能性~」



- ・詳細につきましては、後日、各ご家庭にご案内を配布いたします。
- ・感染症対策のため、ご来場は生徒のご家族のみに限らせていただく予定です。ご理解・ご協力くださいますようお願い致します。

### プログラム

- 1 開会式
- 2 1学年 演劇「今日から俺は！」
- 3 2学年 演劇「二番目の悪者」
- 4 音楽部 演奏
- 5 3学年 演劇  
「ぼくらの『新島』7日間戦争」
- 6 閉会式

文化祭まで1か月を切り、校内では着々と準備が進んでいます。今年は感染症の影響により、様々な制限のある文化祭になってしまうかもしれません。しかし、そんな中だからこそ、1人1人の協力が大切になると思います。私たち文化祭実行委員も、心に残る文化祭になるよう、精一杯頑張ります！

文化祭実行委員長 藤井 晏

# 生徒会役員選挙

9月10日（木）に生徒会役員選挙を行いました。  
 4名の立候補者が約1週間前から選挙活動を行い、当日を迎えました。  
 村の選挙管理委員会から実際の選挙で使用する投票箱などもお借りし、  
 本格的な選挙となりました。結果は、4名全員が信任を得て、当選しました。  
 演説者の堂々とした姿とそれを真剣な表情で聴いている生徒の姿が  
 大変素晴らしかったです。



## 部活動体験

7月18日（土）、9月5日（土）の2日間、小学  
 6年生対象の部活動体験を行いました。中学校生活の  
 一端を体験してもらい、小学生の皆さんにとっては  
 楽しみが増えたのではないかと思います。中学生に  
 とっても、来年後輩になる児童との交流が深まり、  
 有意義な時間になりました。来年4月が楽しみです！



リレーコラム

## ぬいねえどう ～日よけ雨よけそして風よけ～

### 跳ぶためにはしゃがまなければならない

事務 橋本 大輔

私が中学生の時にサッカー部の顧問の先生から授かった言葉だ。当時の私は「棒立ちで跳ぶのに比べてしゃがんで跳んだほうが高く跳べるのなんか至極当たり前のことじゃないか」と、気に留めなかったが昨今の「コロナ禍」をキッカケにして先生が伝えたかったことが少し見えてきた。

「不要不急」という言葉一つで「人と関わる」行動は大きく制限された。学校でいえば授業形式や行事、休み時間の過ごし方、また私生活ではお店の利用方法やイベントなど。これらの大切さを痛感した。また、以前であれば辛いことや嫌なことがあれば家族や友人に気軽に相談に乗ってもらったり、どこかに遊びに行ったりしてなんとなく解決した気になれた。しかし、「人と関わる」ことを制限された生活ではストレスの解消の仕方や、人に愚痴や相談をする際にも限られた時間で何を話すべきか、「何となくではなく考えて」行動するようになった人も多いのではないだろうか。

ストレスのかかる生活が続いているが「不要不急」の必要性が身に沁みて理解できたことは長い目でみたら私たちの人生にとって必要なことだったのではないだろうか。

しゃがみきった私たちはこの先きっとどこまでも高く跳ぶことができる。

## 10月・11月の予定

10月後半

19日（月）一貫公開週間（始）ふれあい週間（始）  
 食育朝礼、避難訓練  
 22日（木）進路説明会3年  
 23日（金）一貫公開週間（終）ふれあい週間（終）  
 SC来校日  
 26日（月）全校朝礼  
 28日（水）SC来校日

11月前半

2日（月）歯科検診 4日（水）SC来校日  
 5日（木）安全指導 7日（土）文化祭  
 9日（月）振替休業日 10日（火）避難訓練  
 11日（水）試験週間（始）  
 12日（木）SC来校日  
 13日（金）数学検定

